



まだ課題や困難もあるが 健康づくりへの意識は広がる…

しが健康医療生活協同組合理事長 金城 明

今年も酉年、十二支の10番目の干支です。犬猿の仲とされる9番目の「さる」と11番目の「いぬ」の間でけんかの仲裁をして仲をとりもったのが「とり」ということらしいです。

しが健康医療生協は、20周年を越えて、新しい発展の段階に入りました。でも厳しい医療や福祉の状況の下で、組合員や地域の要望にこたえるには、まだ課題が多く経営的にも困難が続いています。

そんな中で、食生活の改善や運動で、医療生協の皆で健康づくりをするという意識が根付き広がっています。

夏休みの寺子屋は好評で、ごども食堂の取り組みもボランティアの広がりや合わせて、継続的に取り組まれています。

酉年は、協調性を大切にしたいと思えます。

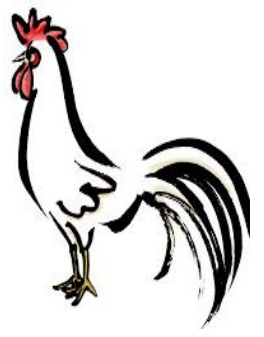


次の目標は築20年を迎えた こびらい生協診のリニューアル

こびらい生協診療所所長 嶋田 歩

明けましておめでとございます。昨年しが健康医療生協も無事に20周年のメモリアルイヤーを迎えることができました。そこまでの道のりは決して平らかなものではなく、倒産一歩前という危機を迎えましたが、不死鳥の如くV字回復を遂げることができました。ひとえに組合員の皆様のご協力のおかげです。

現在、2つ目の診療所であるこうせい駅前診療所は、順調に地域で信頼の根を張りつつあります。次の目標は築20年を迎えた、こびらい生協診療所のリニューアルです。今年中になう目標ではあ



りませんが、職員と組合員の皆さんの二人三脚で着実に前進して行きたいと思えます。今年の干支、酉にちなんで飛躍の一年としましょう。



今年もよろしく
お願ひします。

しが健康医療生活協同
組合理事会一同

安心して住みよい まちづくりの実現にむけ 取り組みも正念場



こうせい駅前診療所
所長
佐々木 隆史

地域包括ケア時代に向けて、いよいよ来年度が医療制度・介護保険制度の同時改定です。少子高齢・多死社会、様々な格差、排他的に進む世界の動き。安心して住み続けられるまちづくりの実現には多くのハードルが待ち構えています。我々医療生協が皆様と取り組むまさに正念場です。

「自助・共助・公助」が良く使われますが、誤解が多いのは「自助」＝「自己責任」ということです。WHOの健康の社会的決定要因が示しているように、幼少時の問題や職業の状態等によっても、

【三画下へ続く】